

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
				評価点	重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質									3.7
Q1 室内環境					0.40				3.7
1 音環境				3.4	0.15				3.4
1.1 騒音				3.0	0.40				
1.1.1 暗騒音レベル		学校の普通教室45dB(A)程度		3.0	1.00				
1.1.2 設備騒音対策									
1.2 遮音				3.5	0.40				
1.2.1 開口部遮音性能		アルミ製外部建具の遮音等級はT-1とする		3.0	0.30				
1.2.2 界壁遮音性能		教室間は耐火遮音間仕切り(TLd=52)から低減値10dBを考慮		4.0	0.30				
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		教室床は二重床+タイルカーペットを設置		4.0	0.20				
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	0.20				
1.3 吸音		教室・事務室は、床:タイルカーペット、天井:岩綿吸音板を設置		4.0	0.20				
2 温熱環境				3.8	0.35				3.8
2.1 室温制御				4.0	0.50				
2.1.1 室温設定		冬期22℃程度の室温を実現する設備容量が確保されている		4.0	0.60				
2.1.2 負荷変動・追従制御性									
2.1.3 外皮性能		西面開口部は、Low-Eガラス及びロールスクリーン・ブラインド等を設置		4.0	0.40				
2.1.4 ゾーン別制御性									
2.1.5 温度・湿度制御									
2.1.6 個別制御									
2.1.7 時間外空調に対する配慮									
2.1.8 監視システム									
2.2 湿度制御				3.0	0.20				
2.3 空調方式		ラーニング commons・教務事務室・大・中教室は床吹き出し方式を採用		4.0	0.30				
3 光・視環境				3.1	0.25				3.1
3.1 屋光利用				2.6	0.30				
3.1.1 屋光率				1.0	0.60				
3.1.2 方位別開口									
3.1.3 屋光利用設備		4階各所に光庭を設置。キャンパスモール吹抜上部にはトップライトを設		5.0	0.40				
3.2 グレア対策				4.0	0.30				
3.2.1 照明器具のグレア									
3.2.2 屋光制御		西面開口部には、電動ブラインドを設置		4.0	1.00				
3.3 照度				3.0	0.15				
3.3.1 照度				3.0	1.00				
3.3.2 照度均斉性									
3.4 照明制御				3.0	0.25				
4 空気質環境				4.4	0.25				4.4
4.1 発生源対策				5.0	0.50				
4.1.1 化学汚染物質		全仕上材をF☆☆☆☆とし、VOC放散量の少ない建材を全面的に		5.0	1.00				
4.1.2 アスベスト対策									
4.1.3 ダニ・カビ等									
4.1.4 レジオネラ対策									
4.2 換気				3.0	0.30				
4.2.1 換気量				3.0	0.33				
4.2.2 自然換気性能		教室等の窓を開閉可能とし、有効換気開口面積≧1/20を確保		3.0	0.33				
4.2.3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.33				
4.2.4 給気計画									
4.3 運用管理				5.0	0.20				
4.3.1 CO ₂ の監視		常時CO ₂ 監視可能なシステムとし、維持管理のための整備を行う		5.0	0.50				
4.3.2 喫煙の制御		屋内全館禁煙		5.0	0.50				
Q2 サービス性能				-	0.30				3.9
1 機能性				4.3	0.40				4.3
1.1 機能性・使いやすさ				4.0	0.40				
1.1.1 広さ・収納性									
1.1.2 高度情報通信設備対応									
1.1.3 バリアフリー計画		バリアフリー新法の建築物移動等円滑化誘導基準を満足した計		4.0	1.00				
1.2 心理性・快適性				4.0	0.30				
1.2.1 広さ感・景観				3.0	0.50				
1.2.2 リフレッシュスペース									
1.2.3 内装計画		機能に応じた仕上選定、室内レイアウトと照明の計画、パースの		5.0	0.50				
1.3 維持管理				5.0	0.30				
1.3.1 維持管理に配慮した設計		内外装材の防汚性および更新性を確保		5.0	0.50				
1.3.2 維持管理用機能の確保		清掃関連施設の整備、維持管理しやすい計画		5.0	0.50				
2 耐用性・信頼性				3.3	0.31				3.3
2.1 耐震・免震				3.0	0.48				
2.1.1 耐震性				3.0	0.80				
2.1.2 免震・制振性能				3.0	0.20				
2.2 部品・部材の耐用年数				3.6	0.33				
2.2.1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.23				
2.2.2 外壁仕上材の補修必要間隔		主要な外装仕上材:レンガまたはタイル		5.0	0.23				
2.2.3 主要内装仕上材の更新必要間隔		耐用年数20年以上の材料を採用		4.0	0.09				
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔		内部結露水を適切に排水できる構造を採用		4.0	0.08				
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.15				
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.23				

2.3 適切な更新				-	-	-	-
2.4 信頼性			4.0	0.19	-	-	-
1	空調・換気設備	災害時高重要度系統優先・負荷要領縮減、熱源種分散・二重化	5.0	0.20	-	-	-
2	給排水・衛生設備	節水型器具、汚水・雑用水槽、受水槽等の分離、井水・雨水利用	5.0	0.20	-	-	-
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	-
4	機械・配管支持方法	耐震クラスA	4.0	0.20	-	-	-
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性			3.9	0.29	-	-	3.9
3.1 空間のゆとり			4.6	0.31	-	-	-
1	階高のゆとり	BF～5Fまでの階高の平均≒4.0m	5.0	0.60	-	-	-
2	空間の形状・自由さ	外壁・耐震壁以外の間仕切りの乾式化(壁長さ比率≒0.12程度)	4.0	0.40	-	-	-
3.2 荷重のゆとり		教室: 2900N/㎡以上を確保	4.0	0.31	-	-	-
3.3 設備の更新性			3.4	0.38	-	-	-
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	-
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	-
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	-
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	-
5	設備機器の更新性	主要設備機器の更新ルート確保、更新スペースの確保	5.0	0.22	-	-	-
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.5
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		景観配慮、道路側緑地の確保、既存調和、シンボル性	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			4.5	0.30	-	-	4.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	中間領域の形成、防犯性、利用者参加性	5.0	0.50	-	-	-
3.2	敷地内温熱環境の向上	排熱位置配慮	4.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	4.0
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.4
1 建物の熱負荷抑制		高断熱仕様外壁、low-eガラスの採用	5.0	0.30	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			4.0	0.20	-	-	4.0
2.1	自然エネルギーの直接利用	トップライト、吹抜・竪穴部の上部熱気抜き、クール・ヒートピット	5.0	0.50	-	-	-
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	-
3 設備システムの高効率化		ERR=22.4	4.0	0.30	-	-	4.0
4 効率的運用			4.5	0.20	-	-	4.5
4.1	モニタリング	主要用途別エネルギー消費内訳把握と妥当性の確認(BEMS採)	5.0	0.50	-	-	-
4.2	運用管理体制	運用・維持・保全の計画、年間エネルギー消費量目標値の設定	4.0	0.50	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.9
1 水資源保護			3.8	0.15	-	-	3.8
1.1	節水	節水コマ、省水型機器の採用	4.0	0.40	-	-	-
1.2	雨水利用・雑排水再利用		3.6	0.60	-	-	-
1	雨水利用システム導入の有無	雨水利用システムの導入	4.0	0.67	-	-	-
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			4.0	0.63	-	-	4.0
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07	-	-	-
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	高炉セメント	4.0	0.20	-	-	-
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	3種類以上のリサイクル資材の採用	5.0	0.20	-	-	-
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05	-	-	-
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上材の容易な分別可能な計画	5.0	0.24	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.8	0.22	-	-	3.8
3.1	有害物質を含まない材料の使用	指定化学物質を含有しない材料の使用	5.0	0.32	-	-	-
3.2	フロン・ハロンの回避		3.3	0.68	-	-	-
1	消火剤	ハロン消火剤の不使用	4.0	0.33	-	-	-
2	断熱材		3.0	0.33	-	-	-
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮		清掃関連施設の整備、維持しやすい計画・主要設備機器の更新	4.7	0.33	-	-	4.7
2 地域環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
2.1	大気汚染防止	大気汚染物質の排出濃度＝基準値の90%以下	3.0	0.25	-	-	-
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	-
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.7	0.25	-	-	-
1	雨水排水負荷低減	雨水抑制槽による排水負荷の低減	4.0	0.25	-	-	-
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-
3	交通負荷抑制	駐輪場の確保と入構管理の徹底。公共交通機関の利用	5.0	0.25	-	-	-
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮			2.5	0.33	-	-	2.5
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	-
1	騒音		3.0	0.33	-	-	-
2	振動		3.0	0.33	-	-	-
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	-
3.2 風害、日照阻害の抑制			1.6	0.40	-	-	-
1	風害の抑制		1.0	0.70	-	-	-
2	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	総合効率効率の高い器具の採用、屋外広告物照明なし	4.0	0.70	-	-	-
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	-